普及センターだより

サンダーソニア、キンギョソウなど、切り花の種類と楽しみ方

芝山町を中心に山武地域で平成4～5年から栽培が始まったキンギョソウやサンダーソニアは、生産量が増え、山武の「ふるさと産品」にも指定されています。

このほかトルコギキョウや、ヒマワリ、リューココリーネ、オーニソガラム・ダビウム、ユリ等の新しい花や珍しい花も山武地域で栽培されています。

地元のサンダーソニア、キンギョソウ、ヒマワリを使ったアレンジメント

切り花を長く楽しむには

切り口から水を吸い上げて切り花は咲きます。茎の切り口が乾いていたり、つぶれていたり、腐ったりすると水揚げができず、しおれる原因になります。良く切れるハサミを使って、水の中で茎の根本を数センチ、切り直してから飾ることがポイントです。この作業が「水切り」です。また葉が水の中に浸かると水が早く腐る原因となるので、水に浸かる部分の葉は取ってから活けます。活けた花がしおれてきたら、水をかえ、水切りをします。しおれがひどいときは、さらに濡れた新聞紙に包んで新鮮な水を張ったバケツ等にいけておくと生き返ります。

花の水は毎日取りかえるのが理想です。切り口から分泌された有機物を餌に、水の中でバクテリアが繁殖して切り口を腐らせる原因となるからです。また直射日光やエアコン等の風が直接当たらない場所を選んで飾ります。

と言ってもなかなか毎日花の手入れができる条件の人ばかりとは限りません。そこで週1回、あなたの家の花曜日を決めてはどうでしょうか。花曜日に水をかえ、茎の切り戻しや茎のぬめり取り、花がら、枯れ葉とりを行います。その時、花瓶の中もタワシ等できれいに洗っておきます。真夏を除いては、この週1回の花曜日だけで、家の中の花がかなりきれいに保てます。

吸水性のスポンジは魔法の剣山

剣山より手軽な吸水性のスポンジ（商品名オアシス等）を使うと、好みの角度に花を活けることができ、花瓶の水がこぼれる等のトラブルも少なく、持ち運びも簡単です。ナイフで適当な大きさに切って使います。水をたっぷり含ませそこに花を挿します。一度挿したところは穴があくので挿し直しができません。穴のあいてない面を使えば何回か繰り返して挿すことができます。

花曜日！

花は「心の食べ物」ともいわれますが、暮しの中に花を飾ることでひとときのやすらぎを感じた経験はどなたにもあると思います。

サンダーソニアをはじめとした地元産の花や自分の庭で咲いた花や小枝、プレゼントされた花、散歩の途中で見つけた草木等を上手に組み合わせて楽しい花曜日を過ごしてみませんか。

（果樹花き科　野口　岳美）

※　問い合せは、普及センター松尾駐在（86－4121～2）へ。

文芸

俳句

明けがらす一声あげて年新た　小林　順子

甘酒の乾杯あげる初日の出　若梅　あやめ

初春や店頭飾る福袋　福田　幸子

俎板の音も軽やか薺打つ　藤代　ゆう

初暦めくり金粉墨の文字　戸村　静華

橋渡る人より多き初荷かな　土屋　栗水

老人力楽しからず年始め　今関　茂生

元朝や茶漬ですます夫婦旅　福田　晴一

待つ人のどよめきあがり初日の出　玉虫　たけし

母探す残留孤児の手毬唄　選者　山口一秋

短歌

汚れたる沼の水面も春めきて折に小さき魚の跳ねゐつ　永藤　滋

垣に沿ふ八重紅梅の咲きそめて高き梢より匂ひ降りくる　萩原　信一

地位もなく財もなけれど曾孫らと七人暮しの仕合せ得たり　秋葉　とく

給ひたる人の笑顔を包み咲く花かたばみの白は清楚に　池田　春江

よく咲きしポピー散り初め地に敷くを惜しみて一つ一つを拾ふ　向後　房

吾が味にスパイス各種ふり混ぜて息は激辛のカレーに変へぬ　八角　三枝

うつし世もかくすっきりとありたしと昇り初めたる初日に向ふ　石井　ユク

耳遠くなりたる老いし吾なれど青年のメッセージ心して聴く　土屋　栗水

菜の花が満開なりしと手紙書きその花入れてそっと封をす　押尾　輝子

札束を扇状に広げ数へゐる行員の指しなやかにして　佐瀬　初音

剣道の初稽古に向かふ車中より天空に見ゆ明けの明星　西山満里子

ヘリ整備士の資格取得目前に交通禍に逝けり耕平君は　選者　斎藤つね子